

令和5年度 事業視察説明シート

事業名	暮らしに芸術の感動を届けるプロジェクト			
主催	一般財団法人奈良市総合財団(ならまちセンター、音声館)、奈良市			
文化振興計画項目	(1)市民の文化に対する意識の高揚に関すること (2)芸術鑑賞等広く市民が文化に接する機会の拡充			
目的	市民や子どもたちが集まる場所へ音楽家等の芸術家を派遣し演奏会等を行い、市民が文化芸術に触れる機会を提供するとともに文化芸術への関心を高めること			
重点対象	様々なハンデがあり日頃文化芸術へ親しむ機会少ないと思われる施設等へ積極的な事業案内を行う。			
目標値	来場者数	実績値	令和5年(新規事業)	
	実施施設の規模が異なるため設定なし		237名(11月25日現在 4カ所開催)	
事業区分	指定事業	事業予算	収入(円)	支出(円)
			1,800,000	1,800,000
概要 (実施方法、協力者や協働相手など)				
<p>当事業は、令和5年度からの新しい取組で、演奏家等が直接地域の施設等へ出向くアウトリーチ事業である。財源はふるさと納税(心のふるさと応援寄付)を活用している。 派遣芸術家は、地域の芸術家や一般財団法人100万人のクラシックライブ所属の演奏家。</p>				
事業スケジュール(準備を含む)				
時期	内容			
5月～9月	児童発達支援センター、子ども園、福祉センター、自治連合会等事業案内、申込受付			
9月～3月	アウトリーチコンサート開催(児童発達支援センター、福祉センター、子育て広場等)			
事業費内訳(主な経費)(予算 単位:円)				
内訳	金額	内訳	金額	
人件費	125,000	諸謝金	300,000	
通信運搬費	50,000	租税公課	15,000	
消耗品費	200,000	委託費	1,000,000	
印刷製本費	100,000	手数料	10,000	

現状

今年度は、市内児童発達支援センター、福祉センター、子育て広場等19カ所でのアウトリーチコンサートを開催する。

既に開催の児童発達支援センターでは各自の特性でコンサートホールに行くにはハードルが高く、今回のような本物の音楽を聴く機会は非常に意義があった。

開催施設からも「子どもたちの普段より成長した姿を見ることができた」と次年度以降の継続を求める声も届いている。

	日程	場所		日程	場所
1	9月16日	北福祉センター	11	1月17日	東福祉センター
2	10月19日	児童発達支援センター くれよん	12	1月20日	子育て広場マザーリーフ
3	11月8日	コミュニティスペース まんま	13	1月23日	春日よつば保育園
4	11月25日	児童発達支援センター 仔鹿園	14	1月28日	杉岡華郷書道美術館
5	11月27日	外国人観光客交流館	15	1月30日	南福祉センター
6	12月5日	月ヶ瀬小学校、連合会	16	2月27日	子育て広場PEACE
7	12月9日	西福祉センター	17	3月4日	狭川公民館
8	12月13日	富雄北幼稚園	18	3月20日	西福祉センター
9	12月22日	古市児童館	19	1月12日又は2月14日	平城こども園
10	1月16日	左京こども園			

課題

次年度以降の継続については財源の確保が必要であるためふるさと納税のご案内もあわせてを実施している。

令和5年度 事業視察説明シート

事業名	奈良市アートプロジェクト「古都祝奈良2023-2024」中高生対象演劇ワークショップ				
主催	奈良市・奈良市アートプロジェクト実行委員会				
文化振興計画項目	(6) 青少年の文化活動の支援に関すること				
目的	創作活動に興味をもってもらい、より発展的なプログラムである「青少年と創る演劇」に参加してもらえ人材を発掘する				
重点対象	次世代を担う若者、特に中高生に創作の楽しさを体感いただくためのプログラムである				
目標値	参加者数	実績値	令和3年度	令和4年度	令和5年度(12月15日現在申込者数)
	20人		19人	17人	29人
事業区分(指定管理事業のみ記入)		事業予算	収入(円)	支出(円)	
			134,000	134,000	
概要 (実施方法、協力者や協働相手など)					
<p>ワークショップ企画を公募し、プログラムディレクター(田上 豊氏 芸術文化観光専門職大学助教)が選んだ様々なジャンルのワークショップを実施。(応募企画数 8企画)</p> <p>1 12月22日(金) 演技に挑戦(講師: 芹井 祐文)</p> <p>2 12月23日(土) 創作に親しむ(講師: 新居 達也)</p> <p>3 12月26日(火) モノ言う身体(講師: 飯田 惣一郎)</p> <p>4 12月27日(水) 声をセリフに(講師: 小野 小町)</p>					
事業スケジュール(準備を含む)					
時期	内容				
8月	ワークショップ企画の公募				
9月上旬	ワークショップ企画の決定				
11月~12月10日	ワークショップ参加者募集				
12月22日、23日、26日、27日	ワークショップ開催(4回)				
事業費内訳(主な経費)(予算 単位:円)					
内訳	金額	内訳	金額		
報償費	100,000				
使用料及び賃借料	34,000				
現状					
<p>これまでも同様の中高生対象の演劇ワークショップを奈良市アートプロジェクトの中で行ってきたが、申込者数が20人に満たないことも多く参加者集めに苦慮していたが、今年度は目標の20人を上回る申込があった。理由としては、参加するのにちょうど良い実施規模(2時間×4回)であったことや、実施時期が都合がつけやすかった(2学期終業式の日を第1回として冬休み前半)ことが考えられる。</p> <p>また、周知方法としては、市立学校(一条中高除く)が使用している保護者向け連絡アプリ(さくら連絡網)での配信を、教育委員会に協力してもらうことで、保護者に直接周知でき、お子さんの参加促進にもつながったと考えられる。</p> <p>ワークショップの内容面では、公募時の対象分野を「演劇(演技、シナリオ創作)、身体表現、ダンス、朗読、アフレコなど」と多様な企画提案をしてもらえるようにしたことで、4回のワークショップで様々な創作体験をしてもらえるプログラムとなったと考える。</p>					
課題					
このワークショップ参加者が創作活動や演劇に興味をもち、3月開催予定「青少年と創る演劇」の参加つなげること					

令和5年度 事業視察説明シート

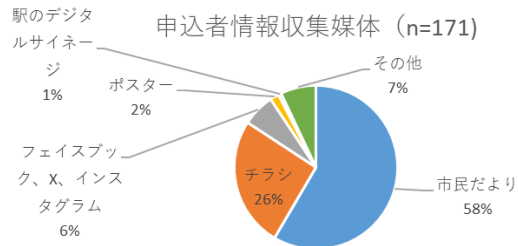
事業名	奈良市アートプロジェクト「古都祝奈良2023-2024」ラーニング・プログラム 「0歳から大人までのパフォーマンスアーツワークショップ」				
主催	奈良市・奈良市アートプロジェクト実行委員会				
文化振興計画項目	(1)市民の文化に対する意識の高揚				
目的	あらゆる世代の人々が文化に触れる機会を提供する				
重点対象	0歳からのあらゆる世代の人々				
目標値	参加者(予定者数)	実績値	令和5年度(申込者)		
	80(人・組)(内訳 50人は一人参加、30組は親子)		171(人・組) (内訳 58人は一人 人で申込、113組 は親子申込)		
事業区分(指定 管理事業のみ 記入)		事業予算	収入(円)	支出(円)	
			261,360	261,360	
概要 (実施方法、協力者や協働相手など)					
プログラムディレクター(田上 豊氏 芸術文化観光専門職大学助教)から6名提案いただき、世代・内容等バランスを事務局とプログラムディレクターで協議し下記の3つのワークショップとした。 1 1月13日 強くなやかに立ち回る殺陣を体験(10:30~12:00 入門編 小学生向け) 講師:福田 健二(俳優・殺陣師)(13:30~15:00 初級編 中学生以上) 2 1月20日 親子で参加!赤ちゃん・こどもと踊ろう(10:00~10:45 0-1歳と保護者) 講師:古家 優里(ダンサー・振付家)(11:15~12:00 2歳以上の未就学児と保護者) 3 1月19日、2月9日 写真からお話を書いてみよう 講師:ごまのはえ(劇作家・演出家)					
時期 内容					
6月		プログラムディレクターより講師案提案			
7月		3つのワークショップにしぼり講師と調整			
9月		日程・会場決定			
10月~		デジタルサイネージ、市民だより等で参加者募集			
12月20日		募集締切			
1月13日、19日、20日、2月9日		ワークショップ開催			
事業費内訳(主な経費)(予算 単位:円)					
内訳	金額	内訳	金額		
報償費	167,840				
使用料及び賃借料	35,000				
委託料	58,520				

現状

申込状況・情報収集媒体

0歳から大人までのパフォーマンスアートワークショップ

項目	実施日	定員(人・組)	申込者数	参加者(人・組)
殺陣 強くしなやかに立ち回る殺陣を体験(入門)	1月13日	22	30	22
殺陣 強くしなやかに立ち回る殺陣を体験(初級)	1月13日	24	20	20
親子で参加 赤ちゃん・こどもと踊ろう(0歳~1歳)	1月20日	15	53	15
親子で参加 赤ちゃん・こどもと踊ろう(2歳以上)	1月20日	15	60	15
写真からお話を書いてみよう	1月19日、2月9日	10	8	8
合計		86	171	80



・フェイスブックやLINE等SNSを利用した広報も行っているが市民だよりを見た応募者が半数以上をしめている。

課題

「親子で参加！赤ちゃん・こどもと踊ろう」について合計30組募集したところ112組の応募があり、82組の方にお断りすることになった。断って終わりではなく今後につながるようにSNS等のご案内を行っている。